

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		4	1	机や椅子の場所を活動ごとに移動させ、活動に必要なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			適切な職員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	2	現在肢体不自由な利用児童はいないため完全では無いが、必要に応じて検討・改善していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		職員間で業務や支援について話し合いを持ち、目標設定、実施、振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者アンケートを実施し、保護者の意向を把握した上で、改善点がある場合は業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	3	現在は第三者による外部評価は行っていないが、必要があれば実施していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		ZOOMによる外部研修や、事業所・法人内研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		児童の現状を把握し、保護者の意向を取り入れながら作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		法人内で統一したアセスメントシート・フェイスシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			担当者が中心となり、職員全員で活動プログラムを組むようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			活動の担当をローテーションしながら粗大・微細・机上・制作、個別活動・集団活動と様々な活動プログラムを組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		活動の目的を明確にし、課題を設定して支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		障害特性や個々の成長に応じて個別活動や集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作り支援している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝礼にて活動や支援内容、配慮点、役割分担等を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3		支援中に報告・共有は適宜行い、気になる部分は終礼にて話し合いをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		日報や行動観察記録を記入し、成長や課題等を共有して支援の改善に繋げている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		6ヶ月毎にモニタリング、状況により必要な場合はその都度、個別支援計画の見直しを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	1		自立支援・創作活動・屋外活動など様々な内容を組み合わせ、経験を積めるように支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児発管が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			学校、保護者と情報共有を行い、変更があった場合は保護者から情報をいただき把握するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	2	現在、医療的ケアが必要な児童はいないが、今後契約をした際は対応していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		主に相談支援専門員を通して情報共有を行い、これまでの支援方法や現状等把握している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	1	これまでに卒業し障害福祉サービス事業所へ移行した利用者がいない。今後必要に応じて情報提供等行っていく準備は行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		研修等があれば積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	4	直接の交流の機会はないが、公園等外出時に一緒に活動する場面はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5			管理者が参加し、意見交換を行えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			帰りの迎えの際に保護者にその日の様子や状況を伝え合い、できるようになった事や見えてきた課題点など共通理解を持つようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1		保護者から受けた相談に対し、対応方法などを提案したり、行政によるペアレントトレーニング等の講習がある場合、その情報を保護者に伝えて参加を促している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に重要事項説明書を用いて丁寧な説明をし、理解をいただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			相談があった際は丁寧に対応し、情報を整理した上で適切な助言ができるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	利用者個人情報保護の観点から直接の父母の会や保護者会は現在開催していない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		苦情専門の窓口を設置し、苦情があった際は迅速に対応し法人全体で対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3		行事等の通知は事前に通知し、情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	1		個人情報に記載されている書類は書庫にて管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		個々の状況に合った方法でコミュニケーションを取れるよう配慮し、意思の疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	直接的な交流は持たないが、普段の生活の中で挨拶による交流や、法人全体で行う作品展を地域に周知し交流を持てるようにしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1		それぞれマニュアルを策定し、職員は事業所内研修等でマニュアルを確認している。保護者には契約時に説明をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			月一で簡易訓練、6ヶ月ごとに総合防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		法人内研修、ZOOM等での外部研修がある場合は積極的に参加し、一人ひとりが意識を高められるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		身体拘束は行われていない。マニュアルは作成し、いつでも対応できる状態にある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		保護者からの聞き取りにより情報、対応を確認し、職員間で共通理解して支援を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			事例集を作成し、法人内で共有している。